

福井市との包括連携事業

市職員による学生への講義

仁愛女子短期大学 准教授 澤崎 敏文

生活情報専攻の1回生を対象に開講されている「コミュニケーション演習Ⅰ」の授業にて、10月13日(情報Aクラス対象)、14日(情報Bクラス対象)に、福井市総合政策室佐田さんをお迎えし、特別講義をしていただきました。講義のテーマは「かえりたくなるまち・福井へU・Iターンしませんか」。そして、この講義は、その後スタートする「かえりたくなるまち促進事業」のパンフレット企画を実施するための最初のスタートアップでもあります。詳細はそちらのページをご覧くださいなのですが、学生は福井市の観光資源だけでなく、総合政策全般について知ることができました。普段、市役所といえば、市民課等の窓口業務は住民に直接かかわりもあり、業務内容がわかりやすい場所でもあります。一方で、今回のように総合政策、特に、移住・定住等を担当されている部署では普段どのような活動をしているのか、市全体の総合政策というのはどういうことか、ということを知りやすい具体例などを添えて話していただき、学生も多く学ぶことができました。

授業の後半では、「私が福井に住む理由」をテーマにペアワークを実施しました。そこでは2名一組になって以下のようなことが話し合われました。

1. あなたが、いま福井に住んでいる理由はなんですか
2. 将来、あなたが福井に住む理由はなんですか(または住まない理由)
3. 友人、知人、親戚など、身近な人が福井に住まない理由はなんですか

最初は、「福井は田舎だ」「親が住んでいるから」という消極的な意見が多かった学生も、議論が進むにつ



れて、「安全・安心」「自然が豊か」「生活環境が整っている」というように、客観的なものの見方に変わっていきます。学生にとっては、「あたりまえ」として住んでいる今の環境を、このように改めて問い直すことで、自分たちの住んでいる地域と他の地域、または、他の学生との違いを認識し、それらを深く考えるいい経験になりました。

生活情報専攻では、これまでも、様々な機会をとらえて、民間企業の経営者や地域活動されている方々、本学のOGなどにゲストとしてお越しいただいていますが、地域全体の街づくりや行政施策を考えるという意味で、福井市職員の方から総合的・政策的なお話をお聞きする機会を頂けたことは非常に貴重だと感じています。

今回の授業をきっかけに、多くの学生に街づくりや地域活動について考え、参画してもらえたらと思います。

